

阪急電鉄との新たなコーポレートPPAの実施  
～専用太陽光発電設備により再エネ電力を追加供給～

2026年4月27日  
関西電力株式会社

当社は本日、阪急電鉄株式会社（以下、阪急電鉄）、Sun Trinity 合同会社（以下、Sun Trinity）および丸紅新電力株式会社（以下、丸紅新電力）とコーポレートPPA<sup>※1</sup>に関する契約に合意しました。

本契約に基づき、Sun Trinity および丸紅新電力は発電事業者として、合計約25,000kWの太陽光発電設備を開発・運営します。当社は小売電気事業者として、阪急電鉄に対し、本発電設備による追加性<sup>※2</sup>のある再生可能エネルギー由来の電力および環境価値を供給します。

阪急電鉄では、同社専用の太陽光発電設備（約5,000kW）からの電力供給を受けるコーポレートPPAと「再エネECOプラン」<sup>※3</sup>の活用により、鉄道運転に必要な電力を実質的に再生可能エネルギー100%で運用しています。 [[2024年10月11日](#) お知らせ済み]

本契約により、同社専用の太陽光発電設備の規模は合計約30,000kWとなり、専用発電設備からの再生可能エネルギー利用量のさらなる拡大を図ります。

当社は、コーポレートPPAを活用した再生可能エネルギー電源の開発・供給を行うことで、お客さまとともに、2050年のゼロカーボン社会の実現に向け、取り組んでまいります。

※1：「Power Purchase Agreement」（電力購入契約）の略。需要家と発電事業者が小売電気事業者を介して長期・固定価格での電力購入契約を結ぶ、電力供給・調達方法。

※2：太陽光発電所の新設など再エネ総量の増加に直接寄与する価値。

※3：再エネ由来の非化石証書の持つ環境価値を付加したCO<sub>2</sub>フリーの電気料金メニュー。

以上

別紙：本事業の概要

発電事業者	Sun Trinity合同会社、丸紅新電力株式会社
小売電気事業者	関西電力株式会社
需要家 (用途)	阪急電鉄株式会社 (鉄道運転用電力)
発電出力	約25,000kW
供給開始時期	2026年度(予定)

